

そらこめ通信

No.20 2012.03発行

日頃より弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。心からお礼を申し上げます。
今年の冬は雪が多く、特に岩見沢市を中心とした空知管内は豪雪に悩まされています。ここ数日暖気が続いたことで雪解けが進み、あちらこちらでハウスの被害状況なども明らかになってきました。新聞などの報道によると、空知南部の4つのJA管内にある農業施設(主に農業用ハウス)における雪の被害は、現時点で把握されているものだけで20億円を超えとか…。最終的には史上最大規模の被害状況になる可能性もあり、春の水稲作付けにも大きな影響があると書かれていました。

雪は実に様々な顔を持ち合わせています。北海道では、このたくさんの雪のおかげで夏の水不足の心配がありません(もちろん、それを貯めておく「水がめ」としてダムなどの農業施設があつての話です)。また、冬に降った雪を貯蔵して夏の時期に「冷房エネルギー」として使うなど(利雪という)、雪が持っている潜在力を最大限活用する動きが各地で活発化しています。

雪は被害が出ない程度に適度に降ってくればいいのですが、そうもいかないのが自然というもの…。我々もそんな自然と上手に付き合っていかなければいけないのですが、高齢化も進む中でなかなか難しい問題です。



今シーズン2度目の本社の雪下ろし(1月25日)



2月14日倉庫の屋根雪が落ちました。



倉庫前の硬い雪を片付けるためにロータリーの点検と除雪作業(2月14日)



翌日(2月15日)は今シーズン2回目のハウスの除雪作業です。



中型ロータリーでの除雪は、まるで雪のトンネルのよう(2月15日)



2月22日、積雪量は2メートルを超えました。



ショベルをレンタルしての除雪…鉄骨に触れないように慎重に(2月23日)



2月7日、拓殖大学北海道短期大学(深川市)で環境農学科2年生によるゼミの研究成果発表会が行われ、一般の聴講も認められたため我々も参加しました。学生たちの発表はどれも素晴らしいものばかりで、日本の農業に将来性を感じました。



2月29日、札幌駅地下歩行空間で北海道農業研究センターさん主催のイベント「ぶらり立ち寄り北農研」が開催されました。



今回の主役は北農研さんで開発した新品種「ゆきさやか」です。この日は試食も行われ大盛況…30キロのお米があつという間に通行人の胃袋に消えました。



この日使われた米は弊社の「ゆきさやか」です。隣のテーブルでは試食用おにぎりを作ってくれた「札米」さんが店開き。これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

インターネットで美味しいお米♪

(株)空知こめ工房 ホームページ

<http://www.sorachi-kome.jp/>

ブログ「生産日誌」更新中です(見て下さいね)